

北海道 寿都町			
業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	こみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
-	-	3	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	F I T適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和6年2月27日 寿都町風力発電所	令和6年2月27日 寿都町風力発電所	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
北海道電力株式会社	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	H26	H27	H28	H29	H30
水力発電	-	-	-	-	-
こみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	25,846	22,041	28,899	24,439	24,417
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	25,846	22,041	28,899	24,439	24,417

	F I T以外	F I T	合計
年間電灯電力量収入（千円）	-	479,975	479,975

経営比較分析表（平成30年度決算）

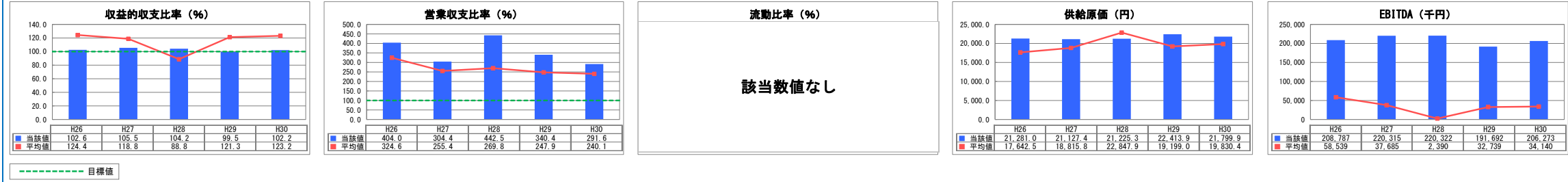
剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）	
電気事業により生じた利益は、施設の撤去に係る風力発電事業基金に積み立てることを基本としている。積み立てた後、なお残額がある場合には、一般会計に繰り出し、産業振興等に活用することとしている。今後も事業運営に必要な財源を確保しつつ、一般会計への繰り出しを通じて産業振興等の向上に努める方針としている。	
基金への積立	
名称：寿都町風力発電事業基金	
目的：撤去費積立金	160,000千円
一般会計への繰出	
内訳 産業振興事業への充当	7,168千円
地域振興事業への充当	21,884千円
町立診療所運営事業への充当	9,141千円
教育関係事業への充当	19,646千円
子育て支援に関する事業に充当	6,628千円
他特別会計繰出金への充当	73,818千円
基金等積立金	21,715千円

分析欄

1. 経営の状況について

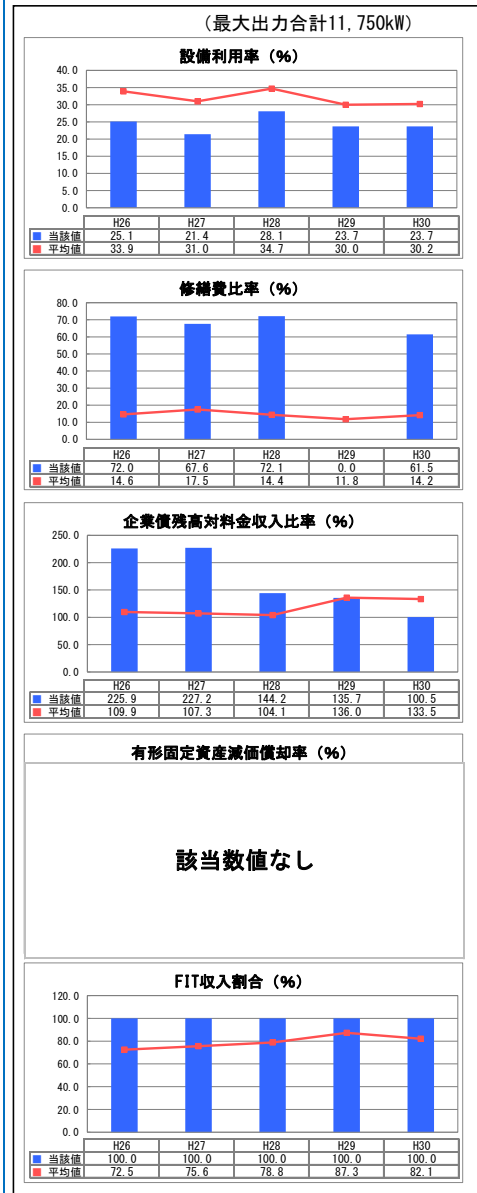
①収益的収支比率は100%前後で推移しているが、利益を今後の撤去費用に充てるべく基金積立を行っており、それ以外の剰余金についても一般会計へ繰り出しを行っているため、最終的に収支が均衡となっている。今後も、事業運営に必要な財源を確保しつつ、産業振興等の向上に努める。
②営業収支は、風況が発電量に影響するため、風の強弱により年度間の営業収入にばらつきが生じるが、営業収支比率は300～400%の高い水準を維持している。今後も健全経営を図るべく維持を行っていく。
④供給原価は全体平均並みを維持しているが、今後についても効率的な経営を行うことを図る。
⑤EBITDAはほぼ同水準で推移している。今後についても同程度の数値を確保できるようにする。

1. 経営の状況

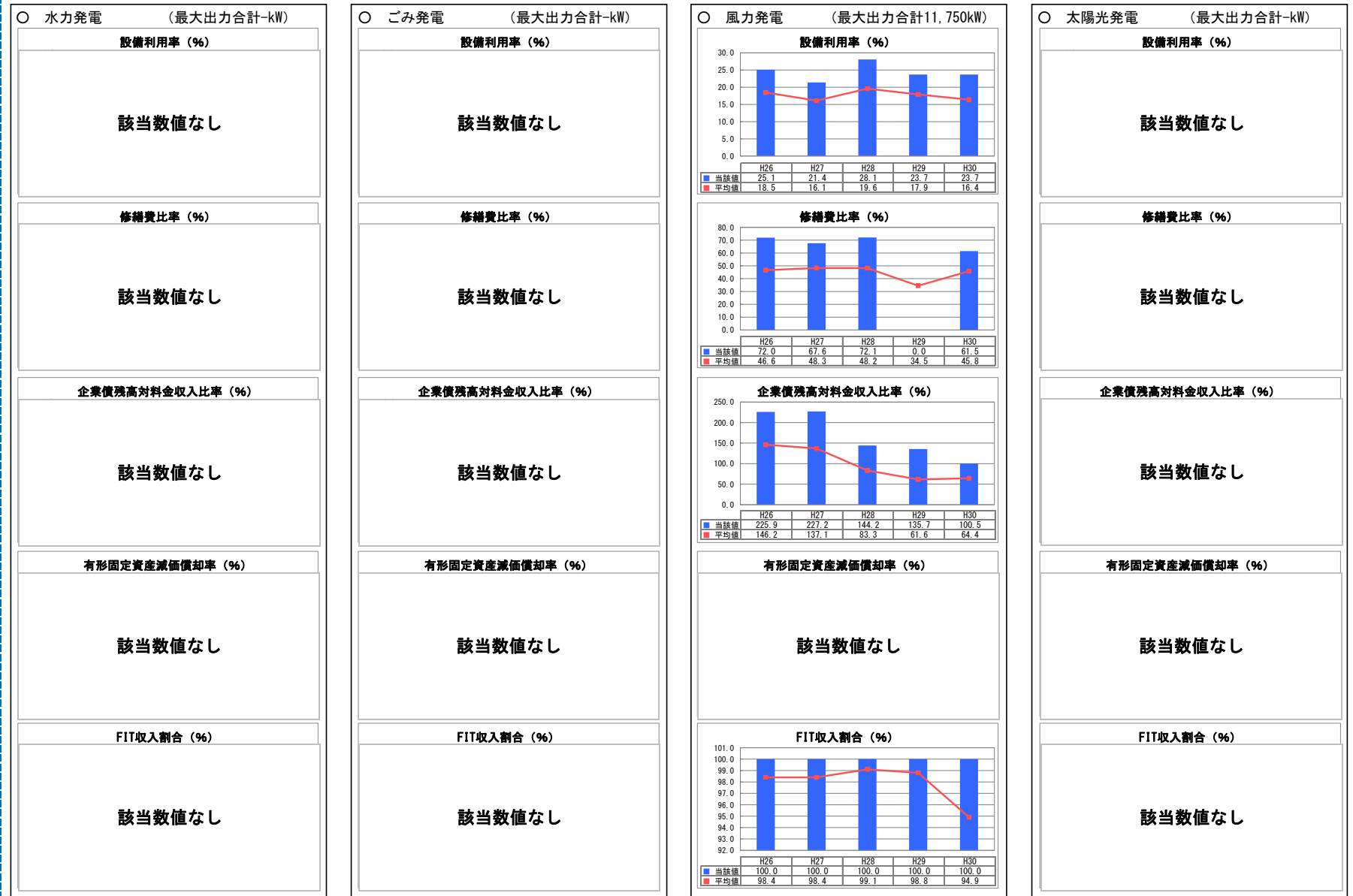


2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



2. 経営のリスクについて

①設備利用率については、適地を選定して施設建設を行っているため、比較的高めの数値となっている。
②修繕費比率は平均値より高くなっているが、風力が強くなると施設に負担がかかる場合があるため、その分修繕費がかさむ傾向がある。今後についても適切な維持管理に努める。
③企業債残高対料金収入比率は、起債の償還が順調に進んでいるため、今後についても同様に進めていきたい。
⑤FIT収入割合については料金収入のすべてをFITに依存しているため、FITの適用終了を見通したうえで事業経営を行う必要がある。

全体総括

経営的には比較的安定しているが、経営戦略の策定については令和2年度を目標に策定を行い、施設の老朽化やFIT適用終了後を見越した事業運営を今後行っていく必要がある。

※ 平成26年度から平成30年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT収入割合については、平成30年度の団体数を基に平均値を算出しています。